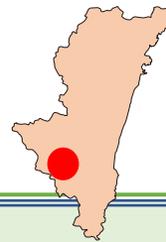


# 9. 事業名称：「伐採・植栽・楽下刈一貫システム」構築事業（実証地：宮崎県）



実証団体 林業経営体：**都城森林組合**、耳川広域森林組合  
支援機関：宮崎県林業技術センター、豊田通商（株）エネルギーソリューション開発部及び産業機械&テクノロジー事業部

太字は窓口・連絡先  
アンダーラインは経営体、支援機関の代表

## ➤ 実証のテーマ

伐ったら直ぐにコンテナ苗を植えて、防草シートやマルチャーで楽下刈りを！

## ➤ 実証の内容（アンダーラインは使用機械・機器等）

- （素材生産）**
  - 箱型4t・4WDダンプ（自称都城エディション）による中出し、短尺材詰込用風呂敷型フレコンバッグによる丸太運搬車の輸送運賃及び地搾の低コスト化
- （再造林）**
  - オビスギ群の中でも初期成長の早い特定母樹（F1）の植栽による低コスト化
  - オビスギ早生樹の植付による低コスト化及びマルチャー等による下刈可能な植栽のためのマーキング
  - 箱型4t・4WDダンプ（自称都城エディション）による苗木運搬の低コスト化
- （保育）**
  - 傾斜度20度未満のマルチャーブッシュチョッパーでの下刈による低コスト・軽作業化
  - 傾斜度20度以上の防草シートによる低コスト及び軽作業化
  - 未利用バークの路盤材や作業道の下部斜面防草資材としての活用



1 m四方の防草シート



自野エディションに加えて角底、乗箱、強化ありを付加した機能を有する4WDダンプ  
箱型4 t ・ 4 WDダンプ（自称都城エディション）

## ➤ 新しい技術の先進性、独自性、優位性

- （素材生産）**
  - 短尺材を詰込・運搬できる風呂敷型フレコンバッグは1tまで詰込みができ、丸太運搬用のフォワーダや大型トラックにも容易に積込が可能であり、短尺材の有効利用に貢献できる。
- （再造林）**
  - 自称都城エディションは、吉野エディションの機能に苗木運搬、余剰バークを森林作業道等の路盤材として散布する機能を追加
- （保育）**
  - 林業用防草シートは、下刈人工数を大幅に削減でき、さらに低価格輸入コーヒー豆用の麻袋が使用できることが実証できればコスト削減が可能となり、現場従業員の軽作業化、林業従事者の雇用増が期待できる。

## ➤ 実証の目標

- （素材生産）**
  - 短尺材や未利用バーク、コンテナ苗も運搬できる4t4WDダンプと風呂敷型フレコンバッグによって、短尺材の積込・中出しコストの20%減、コンテナ苗の運搬コストの20%減、森林作業道の路盤材や道下斜面の防草材として敷設し未利用バークの新規用途開発と路網補修コストの20%削減
- （再造林）**
  - 短尺材等の搬出による地搾経費の5%減と植栽除地面積の10%削減
  - 小規模皆伐地における中出しコストの300円/m<sup>2</sup>の削減
  - マルチャーによる地搾経費の20%減
  - マルチャーによる地搾えによる植栽除地面積の10%削減
- （保育）**
  - 下刈を4年生で終えること
  - 低価格防草シート敷設により人工数の70%減
  - マルチャーブッシュチョッパーによる下刈経費の30%減

## ➤ 事業効果

- 小規模主伐地のコストの削減と造林・保育コストの削減・省力化・軽作業化、就労環境の改善
- 奥地主伐地の短尺材等のバイオマス資源の搬出・運送コストの削減及び中・急傾斜地の造林・保育コストの削減・省力化・軽作業化・就労環境の改善